

月間訪問者数100万UUのライフスタイルメディア
「goodroom journal」 2023年人気記事ランキングを公開！
～今年注目された賃貸暮らしの需要とは？～



gooddaysホールディングス株式会社(代表取締役社長:小倉博)の子会社グッドルーム株式会社(代表取締役社長:小倉弘之、以下「グッドルーム」)が展開するライフスタイルメディア「goodroom journal」は、2023年1月～2023年12月における月間PV数のランキング上位記事を公開しました。

2023年はようやくコロナ禍による行動自粛が解除され、徐々に元の生活に戻りつつある中、2023年の1年間、goodroom journalではどんな記事が人気だったのか、訪問者数に変化はあったのか。その結果から見えるライフスタイルの需要について、ご紹介します。

■人気記事TOP10公開！キーワードは「築古」「シンプル」「狭小」

【No.1】築50年の団地のレトロな雰囲気を楽しむ。一人暮らしの1LDKインテリア



1位を飾ったのは、団地インテリアの事例記事。団地住まいは初期費用や家賃がお得な分、エリアが少し中心部と離れていたり、築年数が経っていて設備が古かったりと工夫が必要です。

そんな条件もあえて“レトロ感”として楽しみ、ナチュラルな家具やDIYで住みやすく、素敵に暮らす。そんな事例が注目されています。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=80726>

【No.2】 横浜の隣駅、なのにディープ。「渋イイ」が魅力の保土ヶ谷駅



2位は、神奈川県横浜市にある保土ヶ谷駅周辺の街歩き記事。goodroomの新しい物件が完成したこともあり、散策した様子を紹介しています。保土ヶ谷駅は普段取り上げられることが少ないものの、横浜駅よりもかなり家賃が抑えられる穴場。コスパの良いエリアとして注目されていることがわかります。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=91034>

【No.3】 夫婦二人暮らし。ちょっとのおしゃれさが、暮らしをグンと良くする3つのアイテム



3位は、ご夫婦で暮らしている方の愛用品まとめ記事。暮らしの質を上げるような雑貨や小物をご紹介します。キャニスター、リネンクロス、掃除用品など真似しやすいアイテムで、暮らしやすくするアイデアは、5位以降でも人気です。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=85916>

【No.4】 あえて選ぶ、古い団地のインテリア。おしゃれで味わい深い暮らしを覗いてみました



1位に続き、4位も団地インテリアの実例まとめ記事。こちらにも築年数を「味わい深さ」として楽しむ実例が注目されています。同じ団地でも、インテリアのテイストによって全く雰囲気が変わるため、インテリアを楽しみたい方にとっても選択肢の一つとなりつつあります。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=87592>

【No.5】 狭いキッチンにも置ける。おしゃれな「ゴミ箱」をまとめました



5位には狭いお部屋での工夫の事例の記事がランクイン。一人暮らしの狭いキッチンでも必要になるのが「ゴミ箱」。みなさんどんな風を選んでいるのか。使いやすいサイズのゴミ箱や、生活感を隠すアイデアを紹介しました。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=88057>

6位以降についても、築古だけど広いお部屋や、シンプル・ミニマムな収納術などのテーマが人気ということがわかるラインナップとなりました。

【No.6】築50年の団地で、自分たちに合った暮らしを。二人暮らしの3LDKインテリア

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=86637>

【No.7】真似したくなるアイデア収納実例20選。スペースを有効活用してすっきり片づいた部屋に

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=91394>

【No.8】見た目がすっきり、かわいい。シンプルでモダンなリビングダイニングにあると良い3つのアイテム

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=91372>

【No.9】築50年の物件を暮らしやすくするために買ってよかった、3つのアイテム

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=79733>

【No.10】《2023》縦長の狭いリビング。暮らしやすいレイアウト実例8選

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=91196>

■築古郊外でも工夫次第で広いお部屋に住みたい需要が引き続き人気

TOP10の記事を見ると、築年数が古かったり、エリアが都心から離れたりしていても、インテリアを楽しめる事例が増えていることから、広くて安いお部屋に注目が集まっていることが伺えます。

goodroom journalでは団地の連載タイアップのご相談も増えており、供給・需要どちらも増えていることがわかりますね。

AUG 28 2023 落ち着いた文教地区で充実した暮らしを楽しむ。「国立富士見台団地」の魅力って？
そらだ、団地に住んでみよう [PR] Vol.56

キーワード: JR中央線 PR UR賃貸住宅 インテリア リノベーション 一人暮らし 二人暮らし 団地

国立市 賃貸

シェア [BI](#) [LINE](#) [Twitter](#) [Facebook](#) いいね!



計画的に整備された緑豊かな街並みが魅力の文教地区、国立市。国立市内にある大きな団地、「国立富士見台団地」の魅力を実地取材で探ってきました。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=86231>

JUL 24 2023 新しいお店が続々オープンする商店街と、夏のお祭り。「町田山崎団地」で新しい暮らしを始めてみませんか
そらだ、団地に住んでみよう [PR] Vol.55

キーワード: JR横須線 PR UR賃貸住宅 一人暮らし 二人暮らし 和室 商店街 団地

小田急小田原線 町田 賃貸 部屋探し

シェア [BI](#) [LINE](#) [Twitter](#) [Facebook](#) いいね!



町田駅からバスで14分。広々とした敷地を活かし、遊歩道やいくつもの公園が整備された町田山崎団地。団地内の商店街には次々に新しいお店がオープン。豊かな環境と、広々とした部屋を手に入れて、新しい暮らしを始めてみませんか？

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=86332>

■狭くても問題ない！ミニマリスト・シンプリストの思考が流行

築古・広めのお部屋が人気な一方で、goodroom journalの連載「シンプリストの愛用品」や「狭くてかわいい」の記事も上位にランクインしていました。物を多く持たず、その分お部屋の広さもミニマムな分、家賃を抑えて都心に住む暮らし方が注目されています。

goodroomの提供するホテル・マンスリーのサブスク「goodroom サブスクらし」でも、そんなミニマムな暮らしを実践されている方が増えています。また、平米数は広くはないけれど、都心でシンプルに暮らせるようなマンションのタイアップのご相談が増えています。「広ければ広いほど良い」という考え方だけではない暮らし方が、広がっています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

グッドルーム株式会社. 広報担当 岩田 TEL: 070-3985-8186 MAIL: pr.goodroom@haptic.co.jp

JUL 21 2023
39歳でセミリタイアした私は、ホテル暮らしをしながら刺激的な日々を送る
これからの賃貸暮らし Vol.24

キーワード サブスクリプション ホテル暮らし 一人暮らし 持たない暮らし

シェア [B!](#) [LINE](#) [Twitter](#) [Facebook](#) [いいね!](#)



39歳の時に会社員を辞めてセミリタイアし、投資や資産運用で生計を立てているSさん。一人で黙々とパソコンで作業をすることが多い日々ですが、ホテル暮らしのおかげで新しい刺激を受けながら生活できているのだそう。ホテル暮らしをはじめたきっかけや、

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=86589>

JUN 02 2023
水辺の眺めを独り占め。設備も整った『Urban Link 大森海岸』で、都心に近く便利な暮らしを
部屋探しと引越しのヒント[PR]

キーワード 1K・ワンルーム PR 一人暮らし 京浜急行電鉄本線 京浜東北線 品川区 大森 賃貸

シェア [B!](#) [LINE](#) [Twitter](#) [Facebook](#) [いいね!](#)



品川からわずか2駅、都心に近くて便利な大森エリアの高層マンション。ほしい設備がしっかりと整い、周辺エリアの魅力も豊富な『Urban Link 大森海岸』を内覧してきました。

<https://www.goodrooms.jp/journal/?p=84074>

■PV数・訪問者数はコロナ禍による外出制限解除後も引き続き好調

2020年から2021年にかけて、コロナ禍による「おうち時間」の充実化需要の増加から、月間訪問者数が50万人→2倍にも増えたgoodroom journal。2022年、2023年も引き続き減少せず、訪問者数は増加し続けています。

InstagramやYouTubeでインテリアの情報を発信する人も増え、お部屋を充実させる意識がより浸透しているのかもしれません。

2024年以降もgoodroom journalでは、そんな皆さんの需要に答えるべく、今回のランキングで人気のあったテーマを中心に、ライフスタイル関連の情報を発信していきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

■goodroom journalとは

goodroom journalは、暮らしのヒントが見つかる、月間訪問者数100万UUのライフスタイルメディアです。goodroomサイト・アプリでお部屋探いを終えたあとも自分らしい暮らし方をしてほしいという思いから、素敵な暮らしをしている方を取材し、ご紹介しています。不動産・メーカー・広告代理店様よりタイアップのご相談も受付中ですので、お気軽にお問い合わせください。

ホームページ : <https://www.goodrooms.jp/journal/>

広告掲載のお問合せ : <https://forms.gle/q634jtbhb731Ak236>

【書籍一覧】

goodroomで出会った
真上から見た 狭くて素敵な部屋カタログ



FUDGE.jp Spin-of Book インテリアの
アイデアが詰まったお部屋カタログ



goodroom journal
素敵なお部屋アイデア500



< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >

グッドルーム株式会社. 広報担当 岩田 TEL : 070-3985-8186 MAIL : pr.goodroom@haptic.co.jp

■グッドルーム株式会社について

グッドルーム株式会社は、「どこにもない、ふつうを作り続ける」という企業理念のもと、暮らし×ITでこれまでにない暮らし方や働き方を提案しています。リノベーション工事からメディアでの集客、運営まで自社で一気通貫で行うことにより、オーナーさま、お客さまにとっても良いソリューションを提供することに加え、社会問題でもある空き家問題の解決にも寄与しています。

ホームページ : <https://www.goodrooms.jp/>

提供サービス : 賃貸からサブスク型のホテル暮らしも叶うお部屋探しプラットフォーム「[goodroom](#)」
一人ひとりの働くを自由にするシェアオフィス「[goodoffice](#)」
リノベーションブランド「[TOMOS](#)」
オフィス・レジデンスに併設するサウナ「[グッドサウナ](#)」／カフェ「[goodcoffee](#)」

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

グッドルーム株式会社. 広報担当 岩田 TEL : 070-3985-8186 MAIL : pr.goodroom@haptic.co.jp